



今月のデータ

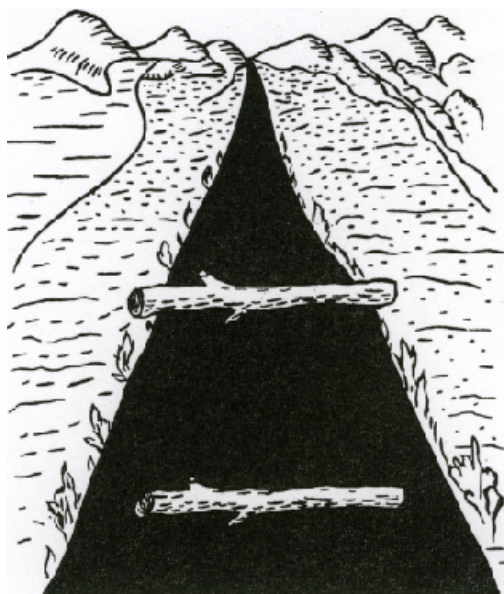
1,431件

昨年8月中に高速道路で発生した交通事故件数です。これは同年1月比の約1.7倍です。8月は高速道路での事故が多発するので注意しましょう。



運転時に陥る こんな錯覚に気をつけよう

走行中の錯覚は誰にでも起こる



左のイラストを見てください。

2本の丸太の長さを比べると、狭い川幅の場所に置かれた丸太のほうが長く見えませんか？

人は実際の状態とは異なるのに、そうであるかのように勘違いして認識することがあります。このような現象を“錯覚”といいます。

運転中に陥りやすい錯覚としては、以下のようなものが挙げられます。

距離感の錯覚 ～二輪車と大型トラック～

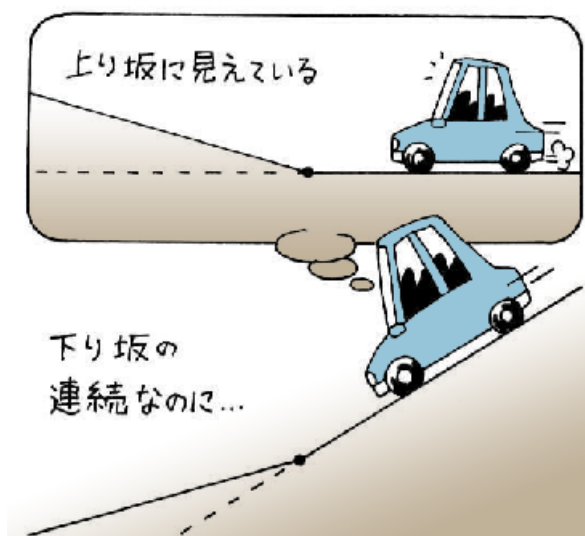
距離感のズレは運転中に生じやすく、これが原因で事故にいたるケースがあります。

右の写真のように、車体の小さい二輪車は遠くにいるように見え、逆に大型トラックは実際より近くに感じられます。

交差点右折時などは、対向車線を直進して来た二輪車との距離を見誤ったために衝突するという事例が多く発生しています。十分安全な距離にいても感じて、ひと呼吸おいて二輪車の動静を確かめながら進行しましょう。



道路形状の錯覚 ～勾配の変わり目～



下り勾配が続く道路を走行中、傾斜角度が緩くなる場所にさしかかると“上り坂だ”と錯覚してアクセルを踏みはじめたために、急に速度が上がって前車に追突するケースがあります。

視覚からの情報だけではなく、速度の変動などから勾配を正しく判断しましょう。

スピードの錯覚 ～速度に順応する感覚～

定速で長時間走行後に速度を大きく変化させると、人の速度感覚には大きな誤差が生じます。

高速道路から一般道路に差し掛かる場面などでは、速度を落とした“つもり”でも、実際は減速が不十分であった結果、事故に至るという事例をよく見聞します。速度が大きく変化する場所では、スピードメーターで実際の速度をこまめに確認しながら適正速度で運転しましょう。



東京海上日動リスクコンサルティング(株)の自動車事故削減プログラム



東京海上日動リスクコンサルティングでは、カメラ付きドライブレコーダを使用した自動車事故削減プログラムをはじめ各種事故削減メニューを取り揃え、ご提供しております。詳しくは、03-5288-6586までお問い合わせください。

HP (<http://www.tokiorisk.co.jp/>)

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課